

# Study on role of maternal and child health coordinator : Consideration for “Continuous support for mothers and children prenatal and after childbirth”

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2018-06-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/00051285">http://hdl.handle.net/2297/00051285</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



平成 30 年 2 月 19 日

## 博士論文審査結果報告書

報告番号 \_\_\_\_\_

学籍番号 1529022021 \_\_\_\_\_

氏 名 平岡 敦子 \_\_\_\_\_

論文審査員

主 査（職名） 毎田 佳子（教授） \_\_\_\_\_

副 査（職名） 田淵 紀子（教授） \_\_\_\_\_

副 査（職名） 塚崎 恵子（教授） \_\_\_\_\_



論文題名 Study on role of maternal and child health coordinator: Consideration for “Continuous support for mothers and children prenatal and after childbirth”

（母子保健コーディネーターのコーディネーション役割に関する研究「産前産後の母子の切れ目ない支援の実践」のための検討）

論文審査結果

### 【論文内容の要旨】

近年の少子化改善対策強化に伴う支援事業は増加傾向にある。それらの支援を必要とする者が有効に利用できるための対策の一つとして、2014年に母子保健コーディネーターが設置された。本研究では、支援対象である産前産後の母子が切れ目ない支援を受けるために、母子保健コーディネーターが支援の調整対象者から求められる要素を明らかにした。研究方法は半構成的質問紙による質的帰納的研究とし、母子保健コーディネーターの支援調整の対象となる者 10 名にインタビューを行った。結果、母子保健コーディネーターは産前産後の母子の【多様な利用者の存在】、【支援を受ける経験が支援利用を促進する】という特徴に対して、情報提供にとどまらない【専門的ケアの提供】をしつつ、多職種連携と利用者支援の【調整（コーディネーション）】をすることが求められていた。それを実践するために、【適切な距離感を持つ関係性】が築け【Women-centered care を実践】するために【寛容性をもって存在すること】が態度として求められていることがわかった。

本研究より、母子保健コーディネーターには、保健分野での支援を受ける経験がまだ少ない産前産後の母子に、ゲートキーパー的な存在として接しつつ、支援に継続的に繋がることのできるまで、個々の存在を尊重した適切な距離感を持ち、支援提供者間の調整と支援利用者の調整をすることが求められていることが示唆された。

### 【審査結果の要旨】

母子保健コーディネーターが有効に機能するために必要とされる役割を明らかにした先駆的な研究である。行政が求める母子保健コーディネーターの役割より、さらに実践的な要素を明らかにしたことに意義があると考えられる。質疑応答では、研究対象と分析方法、結果の解釈に関する質疑がなされ、適切に回答がされた。以上、学位請求者は本論文の論文審査及び最終試験の状況に基づき、博士（保健学）の学位を授与するに値すると評価する。